

諸 報 告

第 1	前回幹事会以降の経過報告	ページ
1	会長等出席行事	1
第 2	各部・各委員会等報告	
1	部会の開催とその議題	1
2	幹事会附置委員会の開催とその議題	1
3	機能別委員会の開催とその議題	1
4	分野別委員会の開催とその議題	2
5	課題別委員会の開催とその議題	4
6	サイエンスカフェの開催	5
7	総合科学技術会議報告	5
8	慶弔	5
9	インパクトレポート	5

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行事等	対応者
9月25日(水) ～29日(日)	26th C SPR Meeting (フランスパリ)	春日副会長
9月26日(木)	総合科学技術会議有識者議員会合	大西会長
9月30日(月)	文部科学省研究振興局長 回答手交	家副会長

(注) 部会、委員会等を除く。

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第一部拡大役員会 (第11回) (9月24日)

- ① 幹事会報告
- ② 大型研究計画について
- ③ 第23期会員・連携会員の選出について ④ その他

(2) 第三部拡大役員会 (第20回) (9月24日)

- ① 第23期会員の選考について
- ② 理学・工学系 夢ロードマップについて
- ③ 学術の大型研究計画マスタープランについて
- ④ ILC計画に関する審理状況について ⑤ 今後の活動について
- ⑥ その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 科学研究における健全性の向上に関する検討委員会 (第2回) (9月24日)

- ① ヒアリング ② その他

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 国際委員会 (第29回) (10月1日)

- ① アジア学術会議白田佳子事務局長の第29回 ISSC 年次総会への出席のための出張について

(2) 科学と社会委員会 (第16回) (10月2日)

- ① 担当委員について ② 分科会の審議状況について ③ その他

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) **心理学・教育学委員会 心理学分野の参照基準検討分科会** (第3回) (9月26日)

- ①「心理学とは何か」に関する各委員の意見陳述と質疑
- ②今後の報告書作成に向けてのスケジュールについて ③その他

(2) **社会学委員会 社会変動と若者問題分科会** (第6回) (9月27日)

- ①平成25年度シンポジウムの総括
- ②次年度の活動について ③その他

(3) **史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会** (第5回) (9月28日)

- ①報告 テーマ 災害と歴史意識・歴史認識
 - 1. 「3. 11以後の歴史意識の変化と特徴 (仮題)」
奥村弘 氏 (神戸大学大学院人文学研究所)
 - 2. 「茨城資料ネットの活動と課題 (仮題)」
添田仁 氏 (神戸大学大学院人文学研究科教授)

(4) **社会学委員会 東日本大震災の被害構造と日本社会の再建の道を探る分科会** (第9回) (9月29日)

- ①被災地の実情についての報告
- ②今後取り上げるべき重要論点 ③その他

(5) **地域研究委員会 多文化共生分科会** (第6回) (9月30日)

- ①博士課程教育リーディングプログラム複合領域型 (多文化共生社会) の教育について
金沢大学、大阪大学、同志社大学のプログラムの概要と経過
金沢大学大学院 鏡味治也先生
大阪大学大学院 志水宏吉先生
同志社大学大学院 内藤正典先生 の発表と質疑
- ②報告と今後の計画 ③その他

(6) **哲学委員会 芸術と文化環境分科会** (第7回) (9月30日)

- ①「日本語学術図書翻訳出版センター (案)」の検討 ②その他

(7) **史学委員会 文化財の保護と活用に関する分科会** (第7回) (9月30日)

- ①ワーキンググループからの報告 (坂井班・石川班・佐川班)
- ②今後の進め方 ③その他

(8) **社会学委員会 社会福祉学分野の参照基準検討分科会** (第2回) (10月1日)

- ①社会福祉学の定義と学生に必要な素養 ②その他

(9) **社会学委員会 社会福祉系大学院のあり方に関する分科会** (第10回) (10月1日)

- ①提言内容について ②その他

(10) **言語・文学委員会** (第7回) (10月2日)

- ①第22期公開シンポジウムのテーマについて
②その他

(11) **経済学委員会** (第4回) (10月2日)

- ①各分科会の進捗状況について
②今後の活動について ③その他

(12) **経営学委員会** (第6回) (10月2日)

- ①「経営専門職大学院の認証評価の在り方について」の件
②「経営学大学院における質保証検討分科会」設置について
③特任連携会員として鈴木久敏先生を推薦した件
④税法改定にかかわる新しい分科会設置の件
⑤「リスクを科学する分科会」状況報告
⑥「高齢者の社会参画のあり方に関する検討分科会」の状況報告
⑦来年度会員改選の件 ⑧その他

第二部担当

(1) **健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 脱タバコ社会の実現分科会** (第8回)
(9月25日)

- ①無煙タバコ緊急提言に関して
②タバコ社会の協賛後援活動について ③その他

(2) **臨床医学委員会 放射線・臨床検査分科会** (第5回) (9月26日)

- ①公開シンポジウム「医療被ばくを考える」(7月20日開催)の報告とこれからの進め方
②ダイアログセミナー「放射線医療の将来展望と基盤」(9月14日開催)の報告
③提言案「緊急被ばく医療に対応できるアイソトープ内用療法拠点の整備と広域連携について」
④その他

(3) **基礎医学委員会 機能医科学分科会** (第7回) (9月28日)

- ①機能医科学分科会シンポジウムについて
②今期の分科会活動について
③マスタープラン2013について

④日本版N I H構想への学術会議の対応について ⑤その他

(4) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 自然史標本の文化財化分科会 (第7回) (9月28日)

①大型施設計画マスタープラン提案「国立自然史博物館の設立」について
②今後の活動方針 ③その他

(5) 心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 行動生物学分科会 (第4回) (9月29日)

①行動生物学事典進捗状況の報告
②中等教育への働きかけ進捗状況の報告
③マスタープラン2014の進捗状況の報告
④サイエンスカフェについて ⑤その他

(6) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 海洋生物学分科会 (第6回) (9月30日)

①「学術の大型研究計画」(マスタープラン2014)
②海洋科学の振興 ③その他

第三部担当

(1) 総合工学委員会 I C O分科会 (第6回) (9月30日)

①2013 I C O B u r e a u m e e t i n gについて
②2017 I C O G e n e r a l m e e t i n gについて ③その他

(2) 総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 I F A C分科会 (第5回) (10月1日)

①本分科会活動について ②I F A C T Cの活動について
③I F A C 2 0 2 0 世界会議招請経緯報告
④I F A C A A C 2 0 1 3 国際会議開催報告 ⑤その他

(3) 機械工学委員会 生産科学分科会 (第8回) (10月1日)

①報告案の審議 ②シンポジウム企画(案)の開催の可否を含めた審議
③今後の方針 ④その他

(4) 機会工学委員会 機械工学企画分科会 (第5回) (10月2日)

①機械工学分野の参照基準について ②科学・夢ロードマップ2014について
③今後の活動について ④その他

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) 科学者からの自律的な科学情報の発信の在り方検討委員会 (第1回) (9月24日)

①委員会の設置理由説明 ②今後の審議の進め方について ③その他

(2) 大学教育の分野別質保証委員会 (第5回) (9月24日)

①報告「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 生物学分野(案)」について

②その他

(3) 人口減少が社会の諸システムに及ぼす影響に関する長期展望委員会 (第1回) (9月27日)

①委員長、副委員長、幹事の選出 ②今後の審議の進め方について ③その他

6 サイエンスカフェの開催

日 時：9月27日 (金) 19:00～20:30

場 所：文部科学省情報ひろばラウンジ (旧庁舎1階)

テーマ：「紛争予防は可能か—好戦国家と破綻国家」

ゲスト：藤原 帰一 (日本学術会議連携会員、東京大学法学政治学研究科教授)

コーディネーター：河田 潤一 (日本学術会議会員、神戸学院大学法学部教授、大阪大学名誉教授)

7 総合科学技術会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

なし

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

9月26日 出席

8 慶弔

・ご逝去

北村 貞太郎 (きたむら ていたろう) 9月20日 享年79歳
元会員 (第14～16期) 京都大学名誉教授

島本 功 (しまもと こう) 9月28日 享年63歳
連携会員 (第22期) 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科教授

9 インパクトレポート

(提言)「我が国の宇宙政策のあり方と宇宙科学の推進について
—宇宙開発利用のさらなる発展のために—
インパクト・レポート

1 提言内容

- (1) 宇宙科学研究を、宇宙開発利用全体を先導する主軸要素として位置づけ、宇宙政策委員会に宇宙科学研究コミュニティの代表を含めること。
- (2) 宇宙政策委員会の議論を、原則として公開すること。
- (3) 宇宙科学研究の活力を国のレベルに適切に取り込む枠組みを作ること。
- (4) 宇宙開発利用機関と大学・研究機関等との連携をより強化し、宇宙開発利用の活性化の担い手および人材の供給源として、全国の大学等がこれまで以上に効果的に、宇宙開発利用の場に参加できるようにすること。

2 提言の年月日

平成24年6月27日

3 社会的インパクト

(1) 政策

- 提言内容の(1)に対応して、宇宙政策委員会の委員として、宇宙科学研究コミュニティの代表が選ばれた。
- 提言内容の(2)に対応して、宇宙政策委員会の議論の詳細が公開されることとなった。
- 提言内容の(4)に対応して、文部科学省において、宇宙科学振興のための議論がなされ、具体的施策が検討されることとなった。

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

- JAXA 宇宙科学研究所・理工学委員会における議論で引用されるなど、宇宙科学コミュニティ内外での議論で活用されている。

4 メディア

- ・朝日新聞(平成24年9月1日朝刊)社説

5 考察と自己点検

本提言により、3で述べたように、日本の宇宙科学政策に、学術コミュニティからの意見が一定のインパクトを与えることができたことは大きな成果である。ただし、提言(3)(4)などを実現し、宇宙科学研究をより推進することは、今後の課題である。

インパクト・レポート作成責任者
物理学委員会委員長 伊藤早苗
地球惑星科学委員会委員長 永原裕子